

学校のセキュリティインシデントをゼロに！！～Googleを活用した情報セキュリティ自己点検～ (長崎県佐世保市)

取組概要

佐世保市では、情報セキュリティ対策の仕組みを構築するにあたり、**“Googleツールを活用して”情報セキュリティ自己点検を実施**している。

その際、収集したデータを集計するにあたり、客観的な評価を行う目的で、**“Googleツールを活用して”学校ごとに可視化(数値化)**している。

また、担当がかわっても業務を継続できるよう、**“Googleツールを活用して”集計を自動化**し、担当者の負荷がかからないようにしている。

取組の効果

教職員が安全安心にICTを活用できるようになり

結果として**ICT活用指導力が大きく上昇**

創意・工夫した点

情報セキュリティ自己点検の結果を反映した「情報セキュリティ研修」「情報セキュリティ監査」を実施することで、より効果の高い情報セキュリティのPDCAサイクルを構築することができた。

他団体へのアドバイス

同様の取組にチャレンジしようとする他団体があれば自己点検で使用するパッケージを提供することも可能。

※Googleのアカウント推奨(Googleクラウドでのみ使用できる関数を含んでいるため)

人口 233,227 人 (R6.1.1 現在)

担当 スマート・スクール・SASEBO推進室

情報セキュリティ自己点検 (10月)



【対象者】全教職員 (約1,500名)
【自己点検方法】Googleフォームによる回答
【設問数】34問
【自己点検の目的】
学校情報セキュリティポリシー対策基準の履行状況等を自ら点検、評価することで、学校情報セキュリティポリシー対策基準の遵守事項を改めて認識できる有効な手段です。

自己点検は、セキュリティポリシーの規定で教職員に直接関連する項目を抽出し、より具体的に記述したものです。そのため、自己点検を行うことで、教職員はポリシーの具体的な行動規範を理解でき、情報セキュリティに関する意識の向上に繋げることが出来ます。

自己点検の分析・結果の通知 (11月)

Googleスプレッドシートによる集計

【①データ集計】
Googleスプレッドシートに集約された自己点検の回答を関数で**学校ごとに可視化(数値化)**する。
※データを貼り付けるだけで自動集計。

【②分析用資料の作成】
可視化と同時に分析用資料を自動作成。
※データを所定のシートに貼り付けるだけで自動集計。

自己点検結果の分析・学校への通知

【③自己点検結果の分析】
②で作成した分析用資料を分析し、通知用の資料を作成する。

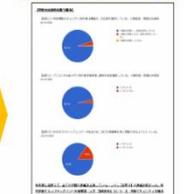
【④分析結果を学校へ通知】
③で作成した資料を学校に通知する。

【③自己点検結果の分析】



【学校情報セキュリティ取組状況確認表(集計)】を教務委員会内で共有

【④分析結果を学校へ通知】



全体の分析資料を全教職員へ通知

全教職員の情報セキュリティに対する意識の向上を図る